

市政を問う

一般質問



佐藤 生稔



さとう いきみ

**水環境を守れ
遅れている下水対策**

質

生活排水対策の現状について伺う。

答 建設部長

本市の生活排水処理率は43%、そのうち公共下水道普及率は2.9%、県下市町村の低位に位置しています。生活排水の57%は、未処理のまま河川などに排出されている状況です。

質

三重町中心部（都市計画区域）の下水処理の実態を伺う。

答 建設部長

生活排水は、合併槽処理が一部分で、大部分は処理されずに道路側溝などに排出されています。

し尿処理は、合併槽18%、単独槽39%ですが、くみ取りが43%の状況です。

質

本市は、水源地域を守る立場にあり、足下の下水対策を抜本的に見直し、特に遅れている三重町中心部は、目的税の都市計画税を使って改善すべきと思うが。

答 市長

下水処理については、現在、合併処理浄化槽方式を推進しています。

新市となって旧三重町時代とは違った状況もあり、今後の課題として生活排水対策と水質汚濁防止の観点から検討します。



▲ 玉田川（大野交通前）

